

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19年 10月 25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2872001595		
法人名	社会福祉法人 姫路文化福祉会		
事業所名	グループホーム プーフーウー		
所在地	明石市二見町西二見 1 6 0 6 (電話) 078-945-0701		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通 2 - 1 - 1 8		
訪問調査日	平成19年9月6日	評価確定日	平成19年11月7日

## 【情報提供票より】(平成19年 7月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤10人、非常勤12人、常勤換算	13.8人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3階建ての 1~2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷 金	有( 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要( 7月 1日現在 )

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	6 名	要介護 2	9 名
要介護 3	2 名	要介護 4	1 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 71 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	順心病院 川畑歯科医院 清水クリニック、明石回生病院
---------	----------------------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

山陽電車の最寄の駅から徒歩5分と交通の便がよく、同一敷地内に介護施設もあり、外観はレンガ造り3階建ての1・2階がグループホームで広々としている。開設後3年が経過し、2つのユニットの個性が発揮されつつあり、管理者・職員は共に熱意をもち、よりよいケアを目指している。今後は、利用者の状態の変化に対応できるよう、ホームとしての方針を確立し、運営推進会議を定期的で開催して活用し、地域との交流を深め、ネットワークの構築をはかっていくことが望まれる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前回評価結果を各ユニットで話し合い、それぞれ可能なところから改善に取り組んでいる。チェック表を用いて口腔ケアの徹底をはかっていくことや、より自由な入浴の開始、あるいは利用者には台所仕事等できることをしてもらっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	各ユニットの職員間でよく話し合い、その結果を各ユニットでまとめ、それを基にして主任が記載した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	近隣のグループホームへ問い合わせたり、規程の作成や、当面の参加メンバーの決定など準備をしているが、まだ第一回目の会議開催に至っていない。開催の準備段階を終え、できるだけ早い時期の開催が望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	訪問時にこまめに家族等の話を聞くようにしている。ホーム便りを送付し、その中で呼びかけたり、苦情受付ボックスの設置や行事ごとのアンケートを実施している。今後は、運営推進会議の中でも家族の声をより積極的に聞き、運営に活かしていくことが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	周りに民家が少ない立地条件だが、地域の福祉センターへ出かけたり、トライやるウィーク生の受け入れ等をしている。今後は、今秋開設予定の併設保育園の児童や保護者と交流し、顔見知りを増やしていくと共に、自治会に参加し、地域の一員として連携を深めていくことが望まれる。

## 2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分の意志に基づいて・当たり前の生活を・楽しく穏やかに」を理念としており、玄関等に掲示している。地域密着型として理念の見直しも検討中である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を形式的なものとしないように、主任会議やフロア会議、ミーティング等で話し合い共有できるように努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の福祉センターの健康体操に利用者が参加したり、実習生やトライやるウィークの中学生を積極的に受け入れている。しかし、近隣に民家があまりなく、自治会にも未加入であり、地元の人々との交流はまだ少ない。		今後は、地域の一員として自治会に参加するなど、積極的に地元の人々との日常的な交流を実施することが望まれる。さらに、今秋完成予定の併設保育園を活かしたい意向もあり、園児や保護者との交流で顔見知りができることから始めることも期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での課題の内、チェック表を使い、口腔ケアの徹底に取り組んだ結果、風邪罹患や入院が減って来た。今回の評価は、各ユニット内でそれぞれ話し合い、現場の職員の意見をくみ上げて作成した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>近隣のグループホームへ問い合わせたり、規程の作成や、当面の参加メンバーの決定など準備をしているが、まだ第一回目の会議開催に至っていない。</p>	○	<p>運営推進会議は、可能な限り早期の開催が望まれる。また、メンバーも地域包括支援センター職員をはじめ、幅広い立場の人が集える会議となるよう、積極的に呼びかけていくことが望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>家族からの苦情や、制度に関する疑問点などがあれば、市介護保険課に相談して、連携を図っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族等には定期的に写真をたくさん載せたホーム便りや会計報告を郵送している。また、家族の訪問時にはケース記録をみてもらい、往診の結果などは必要に応じ電話連絡をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム便りで呼びかけたり、訪問時には笑顔で接し、話しやすい雰囲気作りに努めている。また、苦情受付ボックスの設置や行事の後には無記名でアンケートをとっているが、これまで特に意見や苦情は出ていない。家族会はまだ結成されていない。</p>	○	<p>家族が集まる機会を設け両ユニットの家族の交流をはかり、また家族の意向等に応じて家族会の結成を支援するなど、訪問の少ない家族の意見もくみ上げて、運営推進会議での協議や今後の運営に活かすことが望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等をできるだけ少なくし、基本的に各ユニットの職員を固定して、顔なじみの職員によってケアをしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>同一法人内の施設との合同の研修会ははじめ、外部で実施される研修の情報をできるだけ多く職員に提供し、参加を促している。参加後は、その成果を分け合えるよう、フロア会議等で話し合っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>宅老所・グループホーム等の連絡会の、全国および県単位の会員となっている。他市のグループホームの勉強会に参加したり、研修会を開く時には近隣のホームに参加を呼びかけ、交流を図る機会をつくっている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者本人や家族に見学に来てもらい、食事やおやつをいっしょに食べる等の体験の機会を設け、安心感を持ってもらうようにしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理法や献立を教えてもらったり、職員の知らない昔の話を聞かせてもらったりしている。また、人生の先輩として、職員自身の家庭内のことを聞いてもらう時もある。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員全員が利用者に関心を持ち、気づいた点は話し合い、確認しあって、利用者の視点にたつて思いや希望の把握に努めている。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員間でよく話し合い、利用者や家族等の意見や希望を取り入れながら、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>おおむね6ヶ月を見直しの基本としている。状態に変化があるときには随時見直すことを心がけているが、現場の職員の意見も反映された新たな介護計画の作成が追いついていない場合がある。</p>		<p>全職員が現行の介護計画の内容をしっかりと把握し、その上で、月1回程度は職員の気づきや情報を集め、必要な見直しが迅速に行われるようなシステムづくりが望まれる。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制加算を取っており、毎日の健康チェックを実施している。また、協力医院との連携や積極的な受診支援をして、家族の負担の軽減を図っている。またデイサービス等の実施も検討している。</p>	○	<p>ホームの持つ機能をより多くして、現在10名を超える待機者はじめ現利用者への細やかな支援を行えるよう、デイサービスやショートステイの運営開始を目指している。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医者からの投薬治療を続けたり、利用者・家族の同意の上で協力医院の往診を定期的に受けてもらうなど、柔軟な受診支援を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員は、重度化した場合や終末期の支援実施を目指しているが、ホームの方針として、表出されたものはまだなく、協力医や看護関係者との連携の確立や利用者・家族との詳細の取り決め等にはいたっていない。		協力医等との連携をはじめホーム全体の方針の統一を図り、方針やホームで支援できる内容等を契約書や重要事項説明書等に記載して、その上で個々の状況に応じて、家族等と十分話し合うことが望まれる。意思確認書等も整備していくと良いのではないかと。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	年長者である利用者を尊重し、言葉かけをはじめプライバシーや個人情報の取り扱いに気をつけているが、時には乱暴な口調になったり、利用者の中で不本意な発言をしたりする場面がある。	○	日々の生活を共にして馴染みの関係ができて、慣れの中で個人の尊厳を傷つけてしまうおそれのあることを忘れないよう、ミーティングなどで話し合い、職員全員が常に振り返りの姿勢を持ち続けることが望まれる。
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	あまり希望や意思表示のない利用者の場合、どうしても集団ペースになりがちである。また、利用者の気持ちを確認せず、業務の流れに任せたままとなってしまいそうになる場合がある。	○	言葉での訴えが少ない場合でも、表情や反応をよく観察し、利用者一人ひとりの意向やペースを尊重すると共に、利用者の状態の変化をしっかりと把握し、職員主導での生活になってしまわないよう、対応の継続が望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の好みを聞きながら、体に良いものや季節の食材を多く取り入れて週単位のメニューを作り、買い物や調理も一緒に行なうようにしている。職員も同じテーブルにつき、ゆっくり話をしながら食べている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>原則として、ほぼ時間等が決まっているが、一人ひとりの入浴パターンを把握することによって、自由な入浴にも対応可能となっている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>男性は主に買い物の荷物持ちやごみ出しなどの力仕事を、また女性は料理の手伝いなどを行っている。また歌の好きな方は歌を歌い、ホームで飼っている犬の世話を気配る方や、好みの新聞をとっている方もいる。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>朝は散歩をしたり、近くのスーパーへ買い物やお茶を飲みに行くなどしている。また、同一法人内の施設の喫茶へ行ったり、施設のバスを利用しての外出や、定期的に外食したりしている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>建物の構造上居間等から玄関が見えなくなっており、利用者が職員の気付かぬ間に外に出たことがあり、常に暗証番号での施錠をしている。開ける取り組みを行ったことはあるが、時間を決めての開放にもいたっていない。</p>	○	<p>外に出てしまう利用者はほぼ決まっております、ひやりハット報告や事故報告書もあるので、いろいろな場面を想定したマニュアル等を作り、リスク管理を優先するのではなく、開放へ向けて管理者・職員で話し合い、積極的に取り組むことが望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	ホーム独自のマニュアルがあり、職員連絡網も作っている。消防署との訓練は年2回実施しているが、地域との協働体制などはまだ検討されていない。	○	消防署との定期訓練だけでなく、いろいろな災害を想定した話し合いをもとに、ホーム独自の訓練や、自治会との協力、運営推進会議を活用した地域との協働体制づくりが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	利用者ごとのチェック表に記載し、食事量等を把握している。水分不足にならないように十分声かけし、体調維持に留意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共有空間は広々としていて、台所から居間が見渡せ、置き畳による畳スペースや喫煙コーナーがある。また、居間だけでなく廊下にもソファが置いてある。穏やかな採光のもと、季節の花々や行事の写真等が飾られている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各居室は表札をかけ、持ち物も馴染みのものの持ち込みは自由となっている。馴染みのものに囲まれている利用者もあるが、他の施設や病院からの入居の場合、持ち物があまりない場合がある。	○	各居室はそこにいる時間は短いとしても各利用者の家であるので、馴染みの使い慣れたものだけにこだわらず、利用者のこれまでの生活や意向を確認しながら、居心地の良さを実感できるようなものを一緒にそろえる等の取り組みが期待される。

 は、重点項目。